

Rh式血液型キット モノクローナル抗cワコー

〔全般的な注意〕

- (1) 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
- (2) この添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、判定の信頼性を保証しかねます。
- (3) 使用機器は取扱説明書に従い、適切な条件下で使用して下さい。なお、詳細については機器メーカーに問い合わせして下さい。
- (4) 本品はヒト血液成分を使用していますので、ウイルス感染等の危険性があるものとして、検体と同様に十分注意して取り扱って下さい。なお、使用しているヒト血液成分は、HBs抗原、HIV-1/HIV-2抗体およびHCV抗体検査を行い、陰性の結果を得ています。

〔形状・構造等(キットの構成)〕

- (1) モノクローナル抗cワコー
(モノクローナル抗c血液型抗体(ヒト)※1)
※1 性能欄の力価(感度)に適合するモノクローナル抗c血液型抗体(ヒト)を含有します。

〔使用目的〕

赤血球上のc(hr)抗原の検出(Rh式血液型判定)

〔測定原理〕

抗原抗体反応を利用した赤血球凝集反応により血球上の血液型c(hr)抗原を検出します。

〔操作上の注意〕

- (1) 測定試料の性質、採取法
 - (イ) 自己抗体などで感作されている血球は非特異的な凝集を示すことがありますので注意して下さい。
 - (ロ) 抗凝固剤を用いて採血された血液をそのまま判定に用いると、粉らわしい反応を示すことがありますので留意して下さい。
 - (ハ) 古い血球は新鮮血球に比べて凝集反応が弱いことがありますので、被検血球はなるべく新鮮なうちに使用して下さい。
- (2) 連鎖形成因子、寒冷凝集素等により偽陽性反応を生じることがあります。
- (2) その他
 - (イ) 指定された反応温度、反応時間以外での使用は避けて下さい。型判定を誤ることがあります。
 - (ロ) 陰性対照は、自己抗体などによる非特異凝集を鑑別する手掛かりとなりますので必ず並行して実施して下さい。
 - (ハ) 検査は室内温度15～30℃で実施して下さい。温度が低いと型判定を誤ることがあります。従って、本品は予め15～30℃にして使用して下さい。

(二) 反応液周辺に生じる乾燥やフィブリンの形成を凝集と見誤らないよう注意して下さい。特に載せガラス法の場合は反応液周辺が乾燥しやすく粉らわしい反応を起こすことがありますので、載せガラスに本品を滴下したら出来るだけ早く混合して下さい。

(ホ) 遠心過剰や遠心不足により偽陽性や偽陰性を生じることがありますので、検査室で予め至適の遠心条件を検討して下さい。

(ヘ) 正しい凝集は明瞭な凝集ですから、粉らわしいぼんやりとした反応を直ちに凝集と判定しないで下さい。このようなときには条件を整えて再検査して下さい。

(ト) 対照として型のはっきりした血球をおくことは判定の誤りを防ぐために大切です。

〔用法・用量(操作方法)〕

- (1) 試薬の調製方法
そのまま使用して下さい。
- (2) 測定試料の調製法
生理食塩液または被検者の血清(血漿)を用いて、3～5%または40～50%の血球浮遊液を作り、これを試料として下さい。
- (3) 必要な器具・器材・試料等

〈載せガラス法〉	〈試験管法〉
・ 載せガラス	・ 小試験管
・ 毛細管ピペット	・ 毛細管ピペット
・ かくはん棒	・ 遠心機

 陰性対照: モノクローナル抗e、e、C、cワコー用Rhコントロール(別売品)
- (4) 測定法
検査は、室内温度15～30℃で実施して下さい。

〈載せガラス法〉

載せガラスは、予め15～45℃に設定したものをを用いて下さい。

	検 体	陰性対照
モノクローナル 抗cワコー	ホールに1滴(約 0.05mL)滴下。	——
陰性対照	——	ホールに1滴(約 0.05mL)滴下。
試 料	40～50%の血球浮遊液を試液 の上に毛細管ピペットで1～ 2滴(約0.05～0.1mL)滴下。	
かくはん棒を用いて試液と試料をよく混合する。		
載せガラスを前後に揺り動かし、2分以内に凝集 の有無を肉眼で観察する。		

〈試験管法〉

	検 体	陰性対照
モノクローナル 抗cワコー	試験管に1滴(約 0.05mL)滴下。	——
陰性対照	——	試験管に1滴(約 0.05mL)滴下。
試 料	3～5%の血球浮遊液を毛細 管ピペットで1滴(約0.05mL) 滴下。	
試験管を振って内容をよく混合する。		
120g※2で1分間あるいは1000g※3で15秒間遠心する。		
試験管を軽く振って凝集の有無を肉眼で観察する。		

※2 半径10cmのローターで1000回転/分を目安として下さい。

※3 半径10cmのローターで3000回転/分を目安として下さい。

〔測定結果の判定法〕

載せガラス法、試験管法とも次のように判定して下さい。

モノクローナル抗cワコー	陰性対照	判 定
-	-	c(hr')抗原陰性
+	-	c(hr')抗原陽性
+ / -	+	判定不能

+ ; 凝集 - ; 非凝集

〔性 能〕

〈性 能〉

(1) 力価 (感度)

(イ) 凝集価

c(hr')陽性血球を用いて凝集価を測定するとき、食塩液凝集の試験及びアルブミン液凝集の試験で、8倍以上です。

(ロ) 凝集力

c(hr')陽性血球を用いて凝集力を測定するとき、凝集が開始するまでの時間は60秒以内で、2分以内に直径1mm以上の凝集塊を形成します。

(2) 正確性

c(hr')陽性血球及びc(hr')陰性血球を用いて試験するとき、c(hr')陽性血球はすべて陽性を示し、c(hr')陰性血球はすべて陰性を示します。

(3) 同時再現性

c(hr')陽性血球及びc(hr')陰性血球を用いて各々3回同時に試験するとき、c(hr')陽性血球はすべて陽性を示し、c(hr')陰性血球はすべて陰性を示します。

〈関連性試験成績〉

本品と既存の抗c血液型判定用試薬との間で関連性を検討した結果、正常血球60例を試料とした場合、載せガラス法及び試験管法による判定結果がすべて一致し、反応の強さはほぼ同等であり良好な関連性が認められました。

〔使用上又は取扱い上の注意〕

〈取扱い上 (危険防止) の注意〉

- (1) 試薬が誤って口や目に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。
- (2) ピペットをご使用の際は直接口で吸わないよう、必ず安全ピペット等を使用して下さい。

〈使用上の注意〉

- (1) 試薬は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (2) 誤って凍結させた試薬は使用しないで下さい。正しい結果が得られないことがあります。
- (3) 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を開けて指定の条件で保存して下さい。細菌汚染または濃縮等に特に注意して下さい。
- (4) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないで下さい。
- (5) 本品の使用後、ガラス瓶口及びドロツパーのゴム部分が試液で濡れている場合には、清浄な布等で拭き取ってから蓋を閉めて下さい。また蓋を強く締めるとドロツパーのゴム部分が劣化するおそれがありますので、蓋の締めすぎに注意して下さい。

〈廃棄上の注意〉

- (1) 廃棄に際しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) 及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
- (2) 検体と接触した試薬及び試薬容器等は、感染の危険性があるものとして処理して下さい。
- (3) 本品は、防腐剤としてアジ化ナトリウムを0.1%含有しています。アジ化ナトリウムは、銅や鉛などの重金属と結合してアジ化物を形成します。重金属のアジ化物は、乾燥状態で衝撃により爆発する性質がありますので、排水後は、排水管に残留しないように十分量的の水で洗い流して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

- (1) 貯 法 10℃以下保存 (凍結不可)
- (2) 有効期間 製造後2年間

〔包装単位〕

(コード番号)	(品 名)	(包 装)
446-05601	モノクローナル抗cワコー	5mL (滴びん入)

〔主要文献〕

- (1) Technical Manual of the American Association of Blood Banks. 11th ed., 229-256 (1993).
- (2) 遠山 博, 小暮正久, 他: 「輸血学」第2版, 216-224 (中外医学社) (1989).
- (3) 大久保康人: 「血液型と輸血検査」, 29-46 (医歯薬出版) (1991).

〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社
臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号
Tel : 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

〔別 売〕

(コード番号)	(品 名)	(包 装)
444-06001	モノクローナル抗E、e、C、cワコー用 Rhコントロール	10mL (滴びん入)

製造販売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号

Wako

18.03.14K06